

牛越 充 著

足もとの生涯学習

—自分磨きの心の旅路—

学校・PTA・生涯学習グループ・

行政等のみなさんや

家庭でも話題にしたい本

◆仕様

B6判 二〇八ページ
並製 カバー装

◆定価

一〇五〇円(税込)

刊行によせて

“学社融合”の実践成果が長野県で結実したのは平成十一年のことでした。その実践は、本書の著者、当時の信濃教育会会長牛越充先生のもとで、信州教育の伝統に支えられ、県内の多くの地域を巻き込み、より深く確かなものに発展し、県域を越えて多くの人々に感動を与えてきました。

“ともに学び”、“ともに育ち”、“ともに生きる”地域と学校」として。

そのころを本書は優しく語りかけてくれます。

生きることは学ぶこと、学ぶことは自然とともにあること、そして人とともにあること、学ぶ過程は自己実現の過程であること、謙虚さに学び、学ぶ謙虚さを失わないことは人間である証であること、を。

教育は子どもたちや大人たちの学習を手助けする行為です。学ぶことのほろ苦さ、困難、そして喜びを含め、多様な人々とともにある”学習の本質を、本書を通して多くの教育関係者に知っていただきたいと願ってやみません。

八洲学園大学教授 浅井経子



自分磨きの学びを教えてください
こんな方々がいる

- 生涯学習の先駆的役割を果たしてきた信濃木崎夏期大学を、百年近く手弁当で守り続けてきた教師たち
- 先輩から、もてなしの心を学び、自分を見返し、授業に活かそうと努める教師
- わが子の非行に気づき「これは俺とおまえの責任だ」と話し合う夫婦
- 「障害のあるわが子のおかげで、目的を持って生きてこられた。死ぬときは、この子に感謝したい」と語る母親
- 小学四年の孫を連れて信濃木崎夏期大学の講座を受講するおじいさん
- 立派な野菜作りにこだわりつつ、地域の方々の話の聞き手になり、癒しを与えてくれるおばあさん
- 「研修会に参加するたびに、自分の生き方が問われ、自分が見えてくる」と語る生涯学習グループの会員